

香川大学生のための
**海外留学・研修
ハンドブック**
2024-2025

STUDY ABROAD



香川大学インターナショナルオフィス
<https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>



はじめに

このハンドブックでは、香川大学でどのような海外留学ができるのか、留学を実現させるためにはどのような手続きが必要なのか、どのような留学をいつ経験するのが効果的なのかなど、在学中の海外留学を検討するときに必要となる情報を簡単にまとめてあります。

「海外には関心があるけど留学は考えていない」と言う人、「留学にはお金がかかるから無理だろう」と考えている人もいるでしょう。そんな人もぜひ、このハンドブックを開いてみてください。大学を通して応募できる奨学金の情報も掲載してあります。

香川大学の学生の皆さんには、グローバル感覚をもって、目の前のローカルな課題解決に取り組み、リーダーシップを発揮する人となることが期待されます。地域の様々な課題解決のための取り組みを、世界で共通する課題解決の取り組みとして発信することも求められていくことでしょう。そのためにはコミュニケーション能力や専門知識などのスキルとともに、世界や環境、人間の多様性についての深い認識が必要となります。

留学は、世界や社会についての視野を広げると同時に、自分自身についてより深く知る機会となって、価値観や感性に変化をもたらしてくれます。そのことはきっとみなさんの人生の選択肢を大きく広げてくれるでしょう。ぜひチャレンジしてみてください。

なお、このハンドブックで紹介している留学プログラムや各種情報はほんの一部です。香川大学の留学プログラムについての最新の詳しい情報は、インターナショナルオフィスや所属学部で入手するようにしてください。

香川大学の海外留学相談窓口

香川大学インターナショナルオフィス

[場所] 幸町南キャンパス2号館1階 国際課

[連絡先] globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp

IOWeb(留学相談)



Contents

● 香川大学 STUDY ABROAD TREE	P2
● 交換留学(交換留学とは?)	P4
● 交換留学(EXPLORE)	P5
● 交換留学(ネクストプログラム「グローバル人材育成プログラム」)	P6
● 交換留学(その他の留学先)	P7
● 医学部「学生派遣プログラム」	P8
● SUIJI-SLP「海外サービスラーニング」	P10
● 全学短期海外研修	P11
● マレーシア・多文化体験プログラム	P12
● 開発途上国でのボランティア活動・インターン(JICA関連)	P13
● 経済学部「(特別講義)海外研修」	P14
● 創造工学部「協定校訪問交流プログラム」	P16
● 創造工学部「国際インターンシップ」	P17
● 農学部・農学研究科「国際応用科学研修I・II」	P18
● 農学研究科「チェンマイ大学ダブルディグリープログラム」	P19
● 留学経験者の声	P20
● 海外渡航学生のための危機・安全管理	P24
● 海外留学のための奨学金	P26
● キャンパスのなかでの国際交流活動	P30
● 海外留学情報リンク集	P31
● 香川大学との学術交流協定校一覧	P32

香川大学 STUDY ABROAD TREE

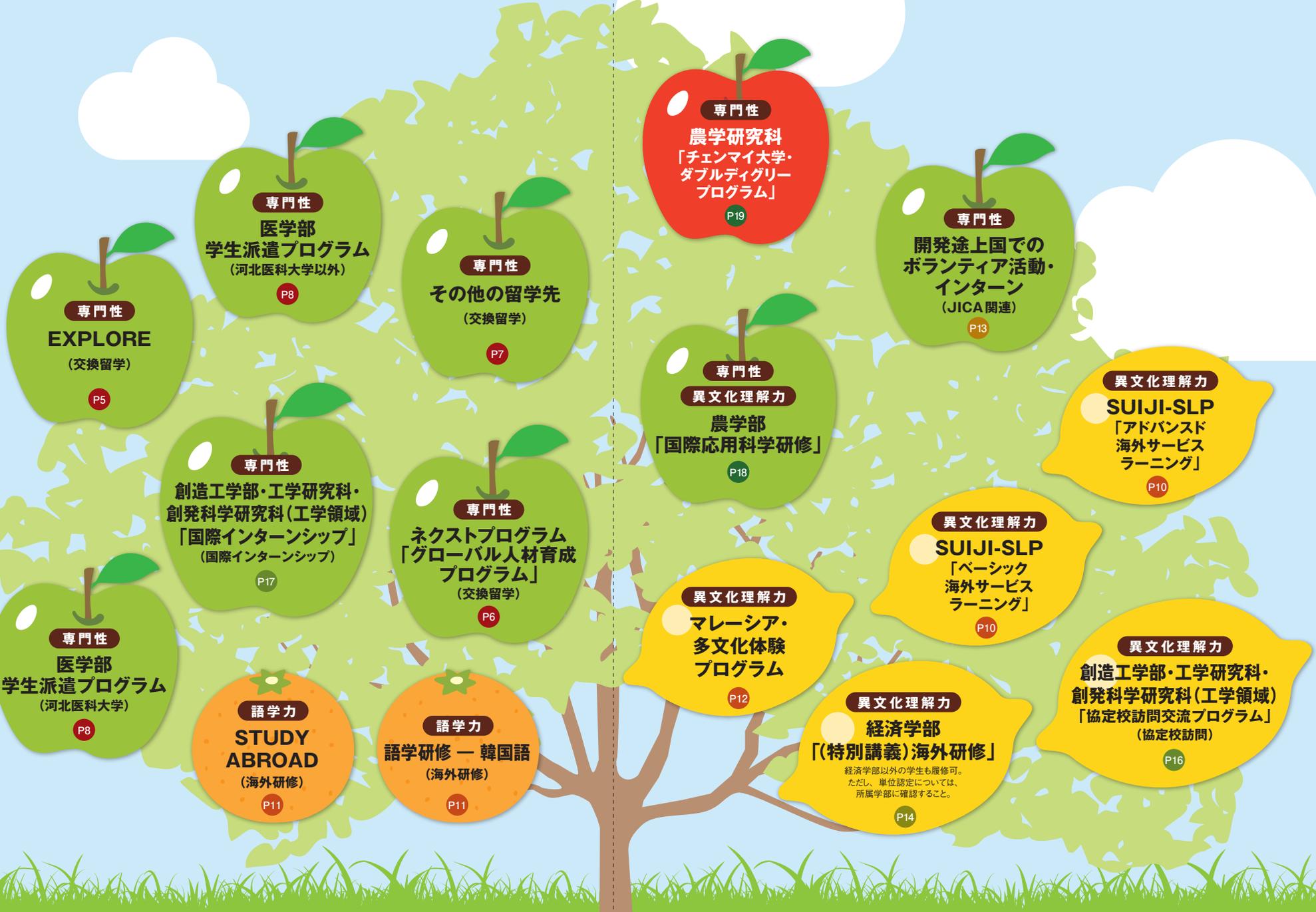
上級

難易度

初級

香川大学 STUDY ABROAD TREE

香川大学 STUDY ABROAD TREE





交換留学 交換留学とは？

交換留学ってどんなもの？

香川大学の正規課程の学生が、本学に在学・在籍したまま、学術交流協定を締結している海外の大学において学びます。1年を限度として1学期または複数学期の間、科目履修または研究指導などの教育の機会を得る留学を指します。

交換留学の特徴

- ★香川大学へ授業料を納めていれば、留学先の授業料は必要ありません(例外もありますので、詳しくは、インターナショナルオフィスへお問い合わせください)。
- ★留学先で取得した単位は、所定の手続きを経て香川大学の単位として認定されます(例外もありますので、詳しくは、インターナショナルオフィスへお問い合わせください)。
- ★留学先の大学で、現地の学生とともに正規の授業を受けることができます(ただし、一定の語学力が必要です)。

交換留学の手続きの流れ

交換留学には通常、留学開始の1年、または1年半前からの準備が必要です。留学を思い立つてから留学開始までの流れについては以下を参考にし、早めに準備を始めましょう。



問合せ インターナショナルオフィス (087-832-1148/globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)

交換留学 | 交換留学とは？



交換留学 EXPLORE

EXPLOREとは？

EXPLOREは、本学の学術交流協定校であるブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ・ダルサラーム国)、チェンマイ大学(タイ王国)およびプトラ・マレーシア大学(マレーシア)における交換留学です。本制度による留学を通して、専門知識と技能、語学力を高め、国際化する地域の諸課題を解決する能力を養うことを目的としています。

本制度で派遣される学生は留学先の大学において、英語で開講される科目を語学力や専攻分野に応じて選択します。授業料は相互不徴収(香川大学へのみ納入)です。香川大学の所属学部における審査を経て、留学先で取得した単位を本学の単位として認定することが可能です。

【応募資格】

- 1 香川大学の正規課程の在籍学生。
 - 2 留学先での学修および生活に足る外国語能力を有する者(TOEIC600、TOEFL500、IELTS5.0以上を目安とする)。
 - 3 学業成績が優秀である者(GPA2.5以上を目安とする)。
 - 4 留学先の学則等に従って行動できる者。
- ※ 次年度以降変更される場合があります。

【募集人数・留学期間】

- ブルネイ・ダルサラーム大学………2名以内
(第1セメスター)8月～12月
- チェンマイ大学………2名以内
(第2セメスター)11月～翌年3月
- プトラ・マレーシア大学………2名以内
(第1セメスター)10月～翌年3月

【応募時期】

毎年度1月初旬応募締切の予定です。各年度の応募時期や締切については、秋(11月頃)にお知らせします。

問合せ インターナショナルオフィス (087-832-1148/globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)



交換留学 | EXPLORE



交換留学

ネクストプログラム 「グローバル人材育成プログラム」

グローバル人材育成プログラムとは？

香川大学ネクストプログラムの一つで、グローバル化の進む地域社会の課題解決に貢献できる人材、国際的に通用する語学力と専門知識や技能をもつ人材の育成を目指し、語学力の向上と在学中の海外留学(原則として1年間)の実現をサポートするプログラムです。英語圏(アメリカなど)の大学への留学を目指す英語コースと中国語圏(中国、台湾)の大学への留学を目指す中国語コースがあります。

ネクストプログラムのために開設された特別授業と自宅学習により、1年半~2年間の語学集中訓練を積みます。その後、語学検定試験(TOEFL、HSK)で基準以上のスコアを取得すると、ネクストプログラムの留学対象者となります。

グローバル人材育成プログラムの特徴

- ★留学にむけて語学力向上を目指したプログラム関連授業科目
- ★ネイティブスピーカーとの対話レッスン(オンライン等)

授業プラス自律学習によりTOEFL、HSKの基準スコア突破を目指します。

※ TOEFLはアメリカ留学に必要な英語検定試験です。

※ HSKは中国政府公認の中国語検定試験です。



留学

一定の語学レベルまで達した参加者は、カリフォルニア州立大学(アメリカ)、上海大学(中国)、国立政治大学(台湾)など、プログラムが指定した海外の大学で原則として1年間(英語コースについては半年から1年の間)の留学経験を積みます。

留学にあたっては、大学が奨学金等の支援を行います(渡航費、授業料、寮費等)。

※ 本プログラムでの留学を理由に休学することはできませんので、留学期間中は大学の授業料が徴収されます。

プログラムの修了

香川大学および留学先大学でプログラムの修了要件を満たした学生には、修了認定証が発行されます。特に優秀な成績を収めたと認められる学生には卒業時に学長表彰等を行います。

プログラム説明会

英語コースは入学当初に開催されるネクストプログラム全体ガイダンス、中国語コースは中国語の授業の中で説明が行われます(中国語コースの希望者は、全学共通科目の初修外国語で中国語を履修してください)。

※ ネクストプログラムの詳細は、香川大学ネクストプログラムのホームページ(特に「履修の手引」)をご覧ください。

問合せ 教育・学生支援部修学支援課(087-832-1365・1363 / syugaku-h@kagawa-u.ac.jp)



交換留学

その他の留学先

香川大学の交換留学制度を使って派遣されている海外の大学を一部ご紹介します。ここに掲載する以外の海外の協定校への交換留学も可能です。詳しくは、インターナショナルオフィスや所属学部学務係へお問い合わせください。

ドイツ・ラインマイン応用科学大学 ヴィースバーデンビジネススクール

【応募資格】

- 1 香川大学の正規課程の在籍学生
(経済学部および経済学研究科または創発科学研究科)。
- 2 専攻分野での学習目的が明確で、勉学意欲に富む者。
- 3 学業成績が優秀である者。
- 4 応募時点で、すでにドイツ語6単位以上を修得済みの者で、ドイツ語技能検定試験3級以上に合格した者、あるいはこれに相当するドイツ語力を証明する証明書を持つ者。

※ 英語の授業を履修する際は、英語能力B2(CEFR)以上を証明する証明書を持つ者。

※ 応募要件は変更されることがあるので担当部署に確認をすること。



【募集人数】

原則2名以内

【留学期間】

(夏学期)4月~9月
(冬学期)10月~翌年3月
※ 変更されることがあります。

【応募時期】

(夏学期)前年度9月~10月頃
(冬学期)前年度3月~4月頃
※ 変更されることがあります。

【留学費用】

1学期あたりの必要経費は、セメスター費約350ユーロ、寮費約350~650ユーロ/月、敷金・礼金約600ユーロ(いずれも変更の可能性あり)、その他に渡航費など諸経費が必要となる。香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できます(※)。

※ この事業については、所属学部学務係、または国際グループへ問い合わせること。

アメリカ・コロラド州立大学

【応募資格】

原則としてTOEFL iBT 79程度またはそれと同等の英語力を証明する証明書を有し、香川大学での学業成績が優秀であるもの

※ 応募要件は変更されることがあるので担当部署に確認に行くこと。

【募集人数】

1~2名(授業料不徴収、教育学部優先)
※ 留学希望者は、なるべく早く担当部署に相談に行くこと。

【留学期間】

(春学期)1月~5月
(秋学期)8月~12月

【応募時期】

前年度4月(春・夏学期)
前年度10月(秋学期)

【留学費用】

英語能力が不足している場合は、IEP(集中英語プログラム)への参加が必要です。秋学期(2022/8/15~)、春学期(2023/1/17~)及び夏のプログラム(2022夏、\$11,915)が開講されており、費用はおおよそ1セメスター\$15,300、1年で\$30,650です。

香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できます(※)。

※ この事業については、所属学部学務係、または国際グループへ問い合わせること。

問合せ (ラインマイン大学)教務課学務第二係 経済学部担当(087-832-1815 / je-kokusai-c@kagawa-u.ac.jp)
(コロラド州立大学)教務課学務係 教育学部担当(087-832-1411 / l-kokusai-c@kagawa-u.ac.jp)



医学部 学生派遣プログラム

中国・河北医科大学派遣

(医学科・看護学科・臨床心理学科 1～3年生、約1週間)

中国の協定校である河北医科大学を訪問し、中国の医学科・看護学・臨床心理学が関わる現場の実体験を通じて学ぶとともに、現地の学生との交流の機会を持ちます。



タイ・チェンマイ大学看護学部派遣

(看護学科 2～4年生、約2週間)

本学の最も重要なパートナー校の一つであるチェンマイ大学を訪問し、看護学部の講義や現地病院での実習に参加してタイの看護を学ぶとともに、学生交流等を通じて異文化への理解を深めます。

ブルネイ・ダルサラーム大学「夏季医学セミナー」派遣

(医学科 2～4年生、約3～5週間)

ブルネイ・ダルサラーム大学で開催される夏季医学セミナーに参加し、ブルネイの学生とともにPBL (Project-based learning) 方式によって英語で医学を学習します。さらにブルネイの自然に触れるとともに、イスラム文化等への理解を深めます。

「医科学研究」による海外派遣

(医学科 3年生、約5週間)

医科学研究に一定期間集中して取り組み、医科学研究に対する研究力と研究倫理の涵養を目的とする科目「医科学研究」の一環として、ブルネイ・ダルサラーム大学およびアメリカ・カリフォルニア大学マーセド校を訪問し、英語環境の下で研究に取り組みます。

「医学実習Ⅱ」による海外臨床実習派遣

(医学科 5～6年生、約3～6週間)

医学科5～6年配当科目「医学実習Ⅱ」における臨床実習の一環として、本学の協定校(準協定校含む)である英国・グラスゴー大学、英国・ロンドン大学セントジョージ医学校、英国・ニューキャッスル大学、およびタイ・チェンマイ大学等における臨床実習に参加します。海外の先生方とともに臨床の現場で学ぶことで、医療人として世界に通用する高度かつ専門性の高い知識と能力の獲得を目指します。参加者には高い英語能力が求められます。



- ★これらの派遣事業に加えて、学生主体の派遣事業や、トビタテ!留学 JAPAN など、様々な留学の機会があります。皆さんの挑戦を期待しています。また、海外の協定校から多くの留学生を受け入れています。
- ★各派遣事業の詳細については、医学部国際交流委員、および学務課教務係に問い合わせてください。
- ★留学先や期間に応じて、留学費用の支援制度があります。

問合せ先 医学部学務課教務係 (087-891-2071 / kyoumu-m@kagawa-u.ac.jp)



日本・インドネシアの農山漁村で展開する 6大学協働サービスラーニング・プログラム

Six-University Initiative Japan Indonesia - Service Learning Program (略称 SUIJI-SLP)は、日本とインドネシアの6大学(香川大学、愛媛大学、高知大学、ガジャマダ大学、IPB大学、ハサヌディン大学)が協働して実施するプログラムです。6大学の学生がともに、四国とインドネシアの農山漁村地域に滞在し、現実社会が直面している課題に取り組みながら学びます。

現実社会の中で、他者と自分に向き合い、多様な人々と協働しながら、課題解決に向けた実践を試み、試行錯誤の経験の中から、未来社会の持続的発展に貢献できる国際的なサーバントリーダー(地域社会で献身的に活動するリーダー)を養成することを目指したプログラムです。

「ベーシック海外サービスラーニング」 「アドバンスド海外サービスラーニング」

【研修先】

IPB大学(Bogor site)
ガジャマダ大学(Imogiri site)
ハサヌディン大学(Sulawesi site)

【内容】

上のいずれかの大学およびサイトで、インドネシアの学生と一緒に農山漁村に滞在して、実践・貢献しながら学ぶ。

【研修時期】

2～3月頃、2～3週間程度

【履修要件】

TOEIC 400点以上ほか英語要件あり。農学部以外の学生の履修も可能^(※1)。

全学共通科目主題B-2「サーバントリーダー養成入門」、および農学部「ベーシック国内サービスラーニング」「アドバンスド国内サービスラーニング」とセットで履修することが望まれる。

(※1) 農学部以外の学生の単位認定については、所属学部を確認すること。

(※2) 香川大学・愛媛大学・高知大学のいずれかの教員が引率。

問合せ 農学部学務係 (087-891-3005 / gakumu-a@kagawa-u.ac.jp)



【定員】

農学部学務係に
確認すること。

【教員の引率】

有^(※2)

【費用】

約17～20万円(サイトにより異なる)、その他
雑費(履修学生負担)

日本学生支援機構の奨学金7万円程度(給付
基準を満たす者のみ)(予定)

STUDY ABROAD

社会で活躍できるグローバル人材育成のための研修プログラムを本学の学術交流協定校において提供します。①英語語学研修(西オーストラリア大学)と②Discover Brunei Course(ブルネイ・ダルサラーム大学)の2つのプログラムがあります。海外での経験を積むことにより、「生きた英語力」と「国際的感覚」を高めることを目的としています。



【研修先】

- ①西オーストラリア大学
- ②ブルネイ・ダルサラーム大学

【定員】

約15名

【研修時期】

- ①8～9月、5週間
- ②8月、4週間

【本学教員の引率】

無

【履修要件】

全学部生

【履修方法】

全学共通科目・高学年向け教養科目「Study
Abroad」として開講。

【費用】

- ①約50～60万円
- ②約20～30万円

問合せ インターナショナルオフィス 滝川
(087-832-1198 / takigawa.yuko@kagawa-u.ac.jp)



語学研修 — 韓国語

韓国の大邱大学で実施される韓国語研修プログラムです。夏休み中に受講することができ^(※)、期間は3週間です。

※プログラム期間は、本学の試験期間または予備日と重なる可能性があるため、十分注意すること。特に、冬のプログラムは授業期間・試験期間と大きく重なるため、紹介していない。

問合せ インターナショナルオフィス 高水 (087-832-1195 / takamizu.toru@kagawa-u.ac.jp)

プトラ・マレーシア大学の学生と共に学ぶ 超短期留学入門プログラム

本プログラムは、香川大学学術交流協定校のプトラ・マレーシア大学(UPM)との連携のもと、マレーシアの文化や自然を体験しつつ、多文化社会の理解を深めることを目的としています。UPMでの講義とフィールドワークを組み合わせる学び、その成果は現地でまとめてプログラムの終盤に発表します。

留学前後には充実した研修を行うほか、現地ではUPM学生(バディ)のサポートがあり、海外渡航が初めての方が参加しやすいプログラムです。

【研修先】

プトラ・マレーシア大学

【定員】

約15名

【研修時期】

2月～3月、現地に約1週間滞在

【本学教員の引率】

有

【応募資格】

本学の学生(英語力および学部不問、主に学部1、2年生)
国際交流・異文化体験に関心を持ち、事前・事後研修に必ず参加すること

【募集時期】

8月

【費用】

約30万円



問合せ インターナショナルオフィス 滝川(087-832-1198 / takigawa.yuko@kagawa-u.ac.jp)



開発途上国でのボランティア活動・インターン(JICA 関連)

香川大学は独立行政法人国際協力機構(JICA)と連携し、開発途上国での国際協力に貢献できるグローバル人材の育成を目指しています。またJICAと連携して開発途上国の人材を本学に留学させています。

学生が参加可能なプログラムとして、ボランティア事業への参加、JICAの国内機関・海外事務所や国際協力プロジェクト現場におけるインターンがあります。

ボランティア事業は「JICA海外協力隊(青年海外協力隊)」として知られており、原則2年間の長期派遣と、1か月～1年の短期派遣があり、年2～3回公募されます。活動分野は人的資源(理科教育、数学教育、幼児教育、青少年活動、音楽、スポーツ、青少年活動など)、農林水産(稲作、野菜、家畜飼育など)、保健医療(看護師、感染症対策、公衆衛生など)、社会福祉(障がい児・者支援、ソーシャルワーカーなど)と多岐にわたっています。今までに香川大学からは94名の学生・卒業生が長期ボランティアとして41か国での活動に参加しています(2023年1月現在)。

JICAインターンは大学の長期休暇を中心として、JICAの東京本部や地方の国内機関(高松のJICA四国)、海外事務所及び海外の国際協力プロジェクト現場で1～3か月程度実施するもので、年2回公募されます。将来国際協力に従事したい方はもちろん、将来海外で働いてみたい方にもお勧めします。

	JICA 海外協力隊(長期)	JICA 海外協力隊(短期)	JICA インターン
応募資格	満20歳から満69歳までの日本国籍を持つ者	満20歳から満69歳までの日本国籍を持つ者	日本語での業務遂行が可能な大学生・大学院生(国籍不問)
派遣先	アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東の約80か国	アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東の約80か国	JICA本部、国内機関、JICA海外事務所、国際協力プロジェクト現場
派遣期間	原則2年間	1か月～1年	1か月～3か月
募集時期	年2回(4～5月、10～11月)	年3回(3月、8月、11月)	年2回(4月、10月)
待遇など	JICAの規程に基づき往復旅費、現地生活費、住居費等を支給	JICAの規程に基づき往復旅費、現地生活費、住居費等を支給	原則自費。海外インターンの場合は旅行傷害保険加入、予防接種、滞在費について一部補助あり

※2021年度の参加者 1名
2022年度の参加者 1名
海外でのインターンは2023年度はありませんでした。

大学連携ボランティアについてはお問い合わせください。また、最新情報はホームページにてご確認ください

▶ <https://www.jica.go.jp/for/join.html> で確認してください

問合せ 国際課(087-832-1149 / globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)

(特別講義)海外研修

経済学部「(特別講義)海外研修」

それぞれの外国語について、現地で短期間の語学研修を行うとともに、自らが外国人となり、現地の人々と積極的に交流します。また、各種文化施設、商業施設、歴史的建造物、観光名所などを訪れ、当該国の文化・社会・歴史・生活について実践的に学びます。経済学部以外の学生の履修も可能です(*)。

アメリカ

【研修先】

ハワイ大学
マノア校
(2024年度
実施未定)



【内容】

ハワイ大学マノア校において、1週間の語学研修を行う。

【研修時期】

3月上旬頃

【定員】

15名
(参加者が定員に達しない場合、中止になることがあります)

【履修要件】

海外旅行未経験の1~2年生の参加を歓迎する。

【教員の引率】

有

【履修方法】

10月に経済学部および全学共通教育の掲示板にて案内する。

【費用】

約20万円
(履修学生負担)

ドイツ

【研修先】

ラインマイン応用科学大学
(2025年3月実施予定)



【内容】

ラインマイン応用科学大学での語学研修、ヴィースバーデン市でのフィールドワークを行う。フィールドワークの目的や内容は各学生の興味関心に沿って設定する。

【研修時期】

2月末~3月上旬頃、約10日間

【履修要件】

全学共通科目のドイツ語を受講している学生。

【定員】

12名前後

【教員の引率】

有

【履修方法】

10月初旬に開催される説明会に参加した上で、10月中に参加申込書を提出する。

【費用】

約30万円
(履修学生負担)

フランス

【研修先】

トゥール(予定)
(2024年度の実施は未定)

【内容】

フランス語学学校での語学研修および現地での実践的研修を行う。実践的研修には現地の大学や市役所を通じた交流などが含まれる。

【研修時期】

3月上旬頃、約2週間

【履修要件】

全学共通科目のフランス語を4単位以上取得済みか取得予定であること。

【履修方法】

夏休み前に、研修の概要についてのプリントをフランス語の授業時に配布するので、よく読んで検討すること。履修希望者は10月の研修説明会に出席し、説明を受けたうえで、10月下旬に申込書兼保証人同意書を学務係に提出する。

【定員】

12名前後

【教員の引率】

有

【費用】

約30万円(履修学生負担)



中国

【研修大学】

上海大学(2024年度実施予定)

【内容】

中国語のレッスンを受けるとともに、上海大学学生との交流や上海市内の教育文化施設・企業見学などを行う。

【研修時期】

3月、2週間以内

【教員の引率】

有

【定員】

12名前後

【費用】

約16万円(履修学生負担)

【履修要件】

全学共通科目の中国語を4単位以上取得、1年生の場合は前期2単位を修得し、後期開講の中国語を受講している学生。



履修方法:研修の概要についてのプリントを中国語の授業時に配布するので、よく読んで検討すること。履修希望者は10月の海外研修説明会に出席し、11月上旬に申込書兼保証人同意書を学務係に提出する。

台湾

【研修大学】

真理大学(2024年度は実施しない)

【内容】

中国語のレッスンを受けるとともに、真理大学の学生と交流を行い、台北及び淡水の教育文化施設などにおいて研修見学を行う。

【研修時期】

3月上旬頃、約2週間

【教員の引率】

有

【定員】

12名前後

【費用】

約15万円(履修学生負担)

【履修要件】

全学共通科目の中国語を4単位以上取得、1年生の場合は前期2単位を修得し、後期開講の中国語を受講している学生。



履修方法:夏休み前に、研修の概要についてのプリントを中国語の授業時に配布するので、よく読んで検討すること。履修希望者は夏休み明けの海外研修説明会に出席し、11月上旬に申込書兼保証人同意書を学務係に提出する。

韓国

【研修大学】

本学の韓国協定校
(例:聖公会大学校)
(2024年度実施予定)



【内容】

韓国語の授業と実地研修(韓国文化社会体験)を行う。

【研修時期】

8月、2週間

【教員の引率】

経済学部参加学生数などにより有。本学教員の引率がなく、学生のみで参加の場合、協定校の教職員がサポートする。

【定員】

10名程度

【履修要件】

韓国語Iの単位を修得済み又は取得済みの者で、研修後の後期に韓国語IIの単位を履修予定または単位修得済みの者。韓国語Iを履修中の1年生から申し込める。

【履修方法】

シラバスに掲載する。それによって履修希望を提出する。

【費用】

約20万円(履修学生負担)

※経済学部以外の学生の単位認定については、所属学部を確認すること。また、経済学部生の参加が4名を下回る場合は実施されないこともある。

問合せ 教務課学務第二係 経済学部担当(087-832-1815/jk-kokusai-c@kagawa-u.ac.jp)

協定校訪問

— 創造工学部・工学研究科・創発科学研究科(工学系領域) 「協定校訪問交流プログラム」

創造工学部の協定校のうちいずれか1校、または複数校を訪問します。協定校での交流や英語による研究発表の他、地元企業への訪問も行います。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンライン形式での実施の可能性あり。

【訪問先】

年度によって異なる。その年度の訪問先大学は創造工学部で確認すること。

【内容】

概要は上記の通り。
詳細は創造工学部で確認すること。

【訪問時期】

9月頃、1週間程度

【参加要件】

創造工学部生、工学研究科大学院生、
創発科学研究科(工学系領域)大学院生

【募集時期】

4月

※創造工学部で募集要項を入手すること。
このプログラムに応募する学生は説明会へ必ず参加すること。
また、選考後の準備会と事後報告会にも必ず参加すること。

【選考方法】

書類審査と日本語・英語での面接審査による。

【定員】

約15名

【教員の引率】

有

【費用】

訪問先によって費用は異なる(学生負担)。
後援会加入者でこのプログラム初参加の者には、後援会より助成あり。



問合せ 創造工学部 (087-864-2033 / koryugaku-t@kagawa-u.ac.jp)



国際インターンシップ

— 創造工学部・工学研究科・創発科学研究科(工学系領域) 「国際インターンシップ」

フランス、ドイツ、スウェーデンなどにある創造工学部の協定校のうちいずれか1校のインターンシップに参加します。インターンシップ先は協定校の研究室や研究機関などです。

【派遣先】

創造工学部・創発科学研究科(工学系領域)と
インターンシップ協定等を締結している海外
の大学のうちいずれか1校を選ぶこと。
尚、インターンシップ協定等を締結している海
外の大学は以下の通り。

●フランス
サボア・モンブラン大学
コンピューター工学科大学
リモージュ大学
ESIEE PARIS
アルピ鉱山大学
アレス鉱山大学

●ドイツ
ボン＝ライン＝ズィーク大学

●スウェーデン
ハルムスタッド大学

●アメリカ
トレド大学

●オーストラリア
キャンベラ大学

【内容】

概要は上記の通り。詳細は創造工学部で確
認すること。

【留学時期】

9月頃、2～6か月程度(諸条件によって異なる)。
詳細は創造工学部で確認すること

【履修要件】

創造工学部3～4年生、かつTOEIC500点
程度を有する者。
工学研究科博士前期課程または創発科学研究
科(工学系領域)1～2年生、博士後期課程1～
2年生、かつTOEIC550点程度を有する者。
その他条件は、創造工学部で確認すること。

【募集時期】

12月頃

※創造工学部で募集要項を入手すること。
このプログラムに応募しようとする学生は事前説明会へ必
ず参加すること。また、選考後の準備会と事後報告会にも
必ず参加すること。

【選考方法】

書類審査と英語による
面接審査による。



【定員】

約10名

【教員の引率】

無



【費用】

派遣先によって費用は異なる(履修学生負
担)。後援会加入者には後援会より助成あり。
香川大学グローバル人材育成特定基金事業
(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できる。

※この事業については、創造工学部へ問い合わせること。

問合せ 創造工学部 (087-864-2033 / koryugaku-t@kagawa-u.ac.jp)



農学部「国際応用科学研修I・II」

国際応用科学研修I

【研修先】

タイ・アサンプション大学

【内容】

交流協定校であるアサンプション大学で英語による授業を受講する。また、現地の大学生との交流や研究室での活動、プレゼンテーションを行う。

【研修時期】

2月の定期試験終了後、1週間程度

【履修要件】

農学部2～4年生

【履修方法】

11月頃説明会を開催し、参加者募集。開催日は農学部学務係で確認すること。農学部特別講義「国際応用科学研修I」として開講。



【定員】

8名程度
(6名以下の場合は、開講できない可能性がある)

【本学教員の引率】

有

【費用】

約18～22万円、その他雑費(履修学生負担)
農学部後援会補助上限3万円(後援会加入者のみ)

国際応用科学研修II

【研修先】

ベトナム・ハノイ工科大学など(予定)

【内容】

交流協定校であるベトナム・ハノイ工科大学に約1ヶ月間派遣し、大学教員による食農に関するセミナーを、現地の大学生とともに受講する。また、ハノイ工科大学の研究室での研修、現地の大学生との研究交流及びジョイントセミナーでの発表を行う。さらに、現地の食品工場を訪問し、海外での食品製造の現場を視察、ベトナム系と日系の食品工場の相互比較を行う。

【研修時期】

8月～9月、32日～40日程度

【履修要件】

農学部3～4年生

【履修方法】

4月頃説明会を開催し、参加者募集。開催日は農学部学務係で確認すること。農学部特別講義「国際応用科学研修II」として開講。



【定員】

約8～10名

【本学教員の引率】

有

【費用】

約10～12万円、その他雑費(履修学生負担)
農学部後援会補助上限3万円(後援会加入者のみ)
日本学生支援機構の奨学金14万円程度(給付基準を満たす者のみ)(予定)

※上記プログラムは予定です。状況によって、変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

問合せ先 農学部学務係 (087-891-3005 / gakumu-a@kagawa-u.ac.jp)



農学研究科「チェンマイ大学ダブルディグリープログラム」

農学研究科

「チェンマイ大学・ダブルディグリープログラム」

ダブルディグリーとは、香川大学大学院農学研究科とチェンマイ大学大学院農学研究科、または農産学研究科それぞれから修士の学位を取得できるものです。このダブルディグリープログラムでは、チェンマイ大学大学院農学研究科または農産学研究科と香川大学大学院農学研究科の双方に籍を置き、両大学の指導教員から指導を受けられます。両大学の指導のもとで、最先端の科学技術を学ぶ機会を提供し、グローバルな産業界の発展に貢献できる人材の育成を目指すものです。

【留学先】

タイ・チェンマイ大学大学院農学研究科、または農産学研究科

【履修方法】

4月頃募集。詳細は農学部学務係で確認すること。

【内容】

概要は上記の通り。詳細は農学部学務係で確認すること。

【定員】

3名以内

【留学時期】

8月～翌年7月、約1年間

※約1年間の留学期間を含み、修士課程入学から2年半、香川大学大学院に在籍することが求められる。

【教員の引率】

無

【費用】

約64万円、その他雑費(履修学生負担)
香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できる。

※この事業については、農学部学務係、または国際課へ問い合わせること。

【履修要件】

農学研究科修士課程1年生、TOEFL PBT450点以上相当



問合せ先 農学部学務係 (087-891-3005 / gakumu-a@kagawa-u.ac.jp)

留学経験者の声

香川大学の留学プログラムを利用した学生を紹介します。

川口 黎明さん(教育学部3年生※)

留学制度 **EXPLORE**

留学先 **ブルネイ・ダルサラーム大学**

留学期間 **2023年8月～11月**

私は大学3年生の8月から11月までの間、約4か月間ブルネイ・ダルサラーム大学に留学していました。私は教育学部に所属しており、将来、英語教師になりたいという目標があります。英語を学ぶことの面白さを伝えるには、まず自分自身が海外に行き、現地で生活して、語学の大切さ、面白さを感じることが必要だと思い、3年生にして実現することができました。



私は大学入学してから、いつか留学したいと思いながら様々なプログラムを探していました。今回私が、EXPLOREでブルネイを選んだのは、大きく2つ理由があり、1つは奨学金が出て、大学がサポートしてくれること、2つ目はブルネイが普通なら決して行くことのないような未知の国だったからです。イスラム文化の根付いた国で日本とは文化も生活も全く異なる環境で生活してみたいと思い、応募しました。

3年生になって挑戦したため、教育実習が延期となり、卒業も1年遅れることになりましたが、行く決断をしたことに後悔はしていません。むしろ他の人とは違った経験を得ることができ、成長できたと思っています。留学は誰もができることではありません。機会があるなら思い切って挑戦するべきだと思います。

水早 里菜さん(教育学部3年生※)

留学制度 **協定校への留学**

留学先 **クライストチャーチ工科大学
(ニュージーランド)**

留学期間 **2020年3月**

私は、外国にルーツをもつ子どもたちが増加している香川県で将来教師となるために、学校・家庭・地域の三者の連携の在り方を探ることを目的として、半年間留学することになりました。留学先には、多民族国家でボランティア活動の制度が整っており、香川大学と協定校であるニュージーランドのAra Institute of Canterbury(クライストチャーチ工科大学)を選択しました。

新型コロナウイルスの影響により惜しくも滞在期間1ヵ月



間で帰国することになりましたが、その間現地でホームステイをしながら英語学習に励み、ニュージーランドの教育事情を知ることができました。その経験を活かして、帰国後は日本の学校でボランティア活動をしています。

今回の留学ではトビタテ!留学JAPAN地域人材コースという制度を利用しました。この制度は、留学テーマや留学期間が自由に設定でき、給付型の奨学金が受けられるので、自分の可能性を広げるためにぜひ挑戦してみてください!

土壁 直仁さん(法学部3年生※)

留学制度 **ネクストプログラム**

留学先 **国立政治大学**

留学期間 **2022年9月～2023年6月**

私は大学3年の後期から台湾の国立政治大学に交換留学を行いました。留学を決めたきっかけは、大学入学を機会に何か新しいことに挑戦したいと思っていたからです。留学先では、現地の学生と共に専門科目を学んだり、さらに、サークル活動を通じて現地の学生以外にも各国から留学に来る学生と友達になったりするなど非常に充実、貴重な経験を得ることができたと感じています。



最後に、私は「グローバル人材育成プログラム」の中国語コースとして留学をしましたが、本コースは奨学金制度が充実しており、また、留学に必要な中国語を身に付けるカリキュラムや先生方の熱心な指導を受けることができるため、留学に対するハードルは低いと思います。これから新しいことに挑戦しようと思っている方は、ぜひ留学をしてみませんか。

※留学当時の所属

留学経験者の声

留学経験者の声

中山 英里さん(農学研究科1年※)

留学制度 研究留学(国際研究)

留学先 農業ゲノム研究センター(スペイン)

留学期間 2022年9月~2023年2月

私は大学院1年の9月から2月までの約半年間スペインのバルセロナにあるCRAG研究所(農業ゲノム研究センター)に研究留学を行いました。私の研究対象が植物病原菌であり、CRAG研究所に在籍する教授と共同研究を行っていたことから、その教授のもとで植物を用いた実験手法について学ぶため、スペインへの留学を決めました。また、大学入学後に練習に励んできた自分の英語のレベルを確認したいと感じていました。



留学先のCRAG研究所は国際色豊かで、様々な国籍の人が在籍していたため、基本的に英語でコミュニケーションをとっていました。早口の英語を聞き取るのはとても大変だったのですが、根気強くコミュニケーションを取り続けることで徐々に慣れることができました。

この留学は私にとって、非常に大きな挑戦でした。この留学を経験するまでは1人で海外に行ったことがなく、海外を訪れるのも2回目だったためです。しかし、様々な国籍の人と交流していく中で自分の価値観や視野を広げることができ、非常に良い経験をすることができました。また、この留学を通して小さなことで動じない忍耐力を身につけることができ、自分に自信が持てるようになりました。

松崎 菜央さん(農学研究科2年※)

留学制度 研究留学(国際研究)

留学先 カセサート大学(タイ)

留学期間 2023年9月~11月

学部1・2年ではSUIJI-SLPに、修士1年では国際応用科学研修に参加した事がきっかけで、海外で環境コンサルタントとして働きたいと思うようになりました。そこで、修士2年では、タイのカセサート大学水産学部への3か月の研究留学に挑戦しました。植物プランクトンの高い培養技術を持つ先生のもとで、実験に取り組み、その理解を深めることを目的としました。



まず初めに、自分の実験環境を整える必要がありました。しかし、必要な実験器具や試薬を手配する上で、先生や学生に上手く交渉できず、自分の英語力の未熟さを痛感しました。そこで、会話や論文に出てくる単語の意味を逐一調べて実際に使うようにしました。すると実用的な専門英語で説明ができ、実験を無事進めることができました。また、実験

の進捗報告を定期的に行い、先生との議論を通して自分の研究について理解を深めることができました。今回の留学で得た知識や経験は将来必ず活かされると確信しています。

香川大学は夢を後押ししてくれる場所です。6年間の大学・大学院生活で4回も留学に挑戦できたのは、香川大学の充実した奨学金制度や、先生や職員の方の支援のおかげです。ぜひ、皆さんも挑戦してみてください!

東野 太空中さん(創発科学研究科1年※)

留学制度 国際インターンシップ

留学先 アレス鉱山大学(フランス)

留学期間 2023年8月~2024年1月

私は、自分自身が成長できる経験を得られる環境を求めてフランスのアレス鉱山大学での国際インターンシップに参加しました。



留学先では、授業と研究を並行して行っていました。授業では、国際的なビジネスの方法や様々なリスクマネジメントについて学びました。また、研究においては山火事について人々の意識を高めるためのカードゲームを製作しました。さらに、現地では学生寮に住んでいたため、週末は友人とサッカーやバスケットボールをし、夜にはバーベキューやパーティーをして楽しく過ごすことが出来ました。

今回のインターンシップでは、日本では決して体験できないことを多く経験しました。辛いことや苦しいことも多かったですが、帰国したときには、人間として大きく成長出来たと感じました。今の環境を変えてみたい、また、新たな人生経験が欲しい人は是非とも挑戦してみてください。

※留学当時の所属

留学経験者の声

海外渡航学生のための危機・安全管理

海外渡航中に事故や病気にかかったり、犯罪に巻き込まれたりしないために、出発前の十分な情報収集や健康管理を心がけてください。また、災害や暴動などの緊急時にも慌てず対応できるように、事前に、担当教員や保護者、留学先の大学などの担当者との連絡体制を確認しておきましょう。

香川大学を通して海外へ派遣される学生は、**本学が指定する海外危機管理サービスへの加入と渡航前オリエンテーション(危機管理セミナー)の動画視聴が義務付けられています。また、個人旅行などの私事渡航の学生も、このセミナーへ出席することが求められています。**

渡航学生が取るべき危機対応要点

1. 国際情勢や、渡航先の安全性(テロ、自然災害、感染症など)についての情報収集を必ず行うこと。
(外務省、厚生労働省などのウェブページを参照)
2. 渡航中の危機に備える海外旅行保険などに加入すること。
3. 渡航先の政治・社会・文化、日本との関係や対日イメージなどを理解しておくこと。
4. 災害やテロなどの緊急時の安否確認、退避の手配などの連絡・保護が在外公館から受けられるように、必ず、外務省「たびレジ」に渡航予定を登録しておくこと。また、3か月以上外国に滞在する者は在留届電子届出システム(「ORRnet」)での滞在予定の登録も義務付けられています。
5. 緊急連絡先(留学先などの電話番号や住所など)を記したメモなどを外出の際は必ず携行すること。
6. 留学先の関係者に緊急時の本学への連絡先を知らせておくこと。
7. 緊急時の保護者への連絡方法を確認しておくこと。

渡航前の手続き等チェック!

- パスポートの写しを所属学部へ提出する。
- 「海外渡航・一時帰国届」を所属学部へ提出する。
- 「海外渡航・一時帰国届」に以下の書類を添付する。
 - 渡航目的の概要(研修プログラムや飛行機のスケジュール等)が分かる資料
 - 旅行社の連絡先が分かる資料
 - 海外旅行保険証書のコピー(本学にて一括して加入した海外旅行保険以外の保険に加入している場合)
 - 新型コロナウイルス感染症の影響により、提出書類は随時変更となる可能性がある。所属学部、または国際課に確認すること。
- 危機管理セミナーに出席する。
- 外務省「たびレジ」へ渡航予定を登録する(3か月未満の渡航の場合)。
- 外務省「ORRnet」で滞在予定の登録をする(3か月以上の滞在の場合)。
- 渡航や滞在予定の国や地域の安全情報を確認する。

「たびレジ」と「ORRnet」の登録はこちらからどうぞ。

ホームページ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>



自分が渡航や滞在を予定している国や地域の安全は、事前に必ず確認しましょう。

外務省の海外安全情報はこちらからどうぞ。

ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>



問合せ 各学部学務係、または国際課(087-832-1149 / globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)

海外留学のための奨学金

本学の学生が海外の大学などへ留学するための奨学金を紹介します。これらの他にもいくつかの奨学金がありますので、詳しくは国際課及び各学部学務係で確認してください。多くの奨学金は留学開始の半年、または1年以上前から募集が開始されます。奨学金の取得を目指す学生は、早い段階から準備を始めましょう。

奨学金名称	応募資格 ^(※)	支給額	返還義務	募集期間
独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援制度 (大学院学位取得型)	修士・博士の学位を取得するために留学(ダブルディグリープログラム等国際共同学位プログラムによる留学を含む)する、日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者 その他、学業成績要件、語学要件、年齢制限等がある。	〈奨学金〉 月額8万9千円~14万8千円 留学先国・地域により異なる 〈授業料〉 年間300万円を上限とする実費額(これらの支給額については、政府予算の状況により変更する場合があります)。	無	9月頃
独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援制度 (協定派遣)	本学と諸外国の大学等との学生交流に関する協定等に基づいて、本学に在籍したまま、31日以上1年以内(タイプA)または8日以上1年以内(タイプB)の期間、本学が実施する派遣プログラムにより派遣される学生(大学がプログラムを申請)	〈奨学金〉 渡航支援金 (基準を満たす者のみ) 13万円もしくは16万円 月額6万円、7万円、8万円、10万円のうち、いずれか(渡航先に応じて決定する)。	無	プログラム開始時期により異なる (掲示に注意すること)

海外留学のための奨学金

奨学金名称	応募資格 ^(※)	支給額	返還義務	募集期間
独立行政法人 日本学生支援機構 第二種奨学金 (短期留学)	国内の学校に在籍し、海外の大学等に3か月以上1年以内(ダブルディグリーの場合は2年以内)の短期留学をする者で、下記のいずれかの条件で留学を希望する者 (1) 本学の学生交流に関する協定等に基づく留学 (2) 留学により取得した単位が、本学の単位として認定される留学 (3) 大学院在籍中の学生の研究のための留学で、本学学長が有意義と認めた留学	〈大学〉 月額2万円~12万円の1万円単位から選択 〈大学院〉 月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択	有 (有利子)	留学開始時期により異なる
独立行政法人 日本学生支援機構 第二種奨学金 (海外)	学位取得を目的として海外の大学・大学院に留学を希望する者	〈大学〉 月額2万円~12万円の1万円単位から選択 〈大学院〉 月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択	有 (有利子)	進学時期により異なる
香川大学グローバル人材育成特定基金 外国へ留学する学生援助事業	本学在籍の学生又は大学院生で6ヶ月以上外国の大学等へ留学する者、またはダブルディグリー・ジョイントプログラムにより外国の大学へ留学する者で、部局長等が推薦する者	〈奨学金〉 月額3万円 〈準備金〉 4万円(アジア地域) 8万円(アジア地域以外)	無	留学開始時期により異なる

(※)ここに掲載している情報は2023年度又は2024年度3月現在の情報です。最新情報、応募資格の詳細については、各奨学金の募集要項で確認してください。

問合せ先 国際課(087-832-1149/globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)

海外留学のための奨学金

海外留学のための奨学金

官民協働海外留学支援制度

～トビタテ!留学 JAPAN 新・日本代表プログラム～



トビタテ!留学 JAPANとは、2013年に開始された、官民協働でとりくむ留学促進キャンペーンのことです。その取り組みのひとつとして、2014年に「日本代表プログラム」がスタートし、将来世界で活躍するグローバル人材の育成をめざして、民間企業からの寄付をもとに留学の支援が行われてきました。

その基本理念を受け継ぎつつ、より発展的に進化した事業として、2023年度から「新・日本代表プログラム」が始まりました。「自ら社会に変革を起こしていくグローバルリーダー」として、日本の未来を創る人材育成をめざすプログラムです。明確な目的に基づいた実践的な海外での学びを自ら計画・実現し、将来リーダーシップを発揮して活躍する意志のあることが求められます。

詳しくはホームページを参照してください。また、インターナショナルオフィスでは、応募の相談を行っていますので活用してください。



URL <https://tobitate-mext.jasso.go.jp/newprogram/>

問合せ インターナショナルオフィス 植村 (087-832-1197 / uemura.yukako@kagawa-u.ac.jp)

【学生の体験談(トビタテ!留学 JAPAN)】

夏目 佳奈さん(農学研究科1年生※)

留学先 Teso North Sub-County-Agricultural Office, Ministry of Agriculture, Livestock and Fisheries (ケニア)

留学期間 2019年12月～2020年2月

学部3年生で研究室に所属されてから、自分の専門分野を外の世界から見てみたいと思うようになりました。そこで香川県地域人材コースを利用して、研究テーマと絡めて香川県の農業を盛り上げられるような留学をしようと思いました。

現地では、私の研究室に在籍していたケニア人留学生にホストとなって頂き活動をしました。解析のための植物のサンプリングを行ったり、地元農家の方たちとのミーティングに参加しました。

トビタテ!での留学は自分で留学計画を立案するため準備段階から決して簡単なものではありませんでした。しかしトビタテ!で留学したことで得られた、経験や感情、メンタルの強さ、人脈は何にも代え難いです。是非留学にチャレンジして、未知なる自分と出会ってください!



村井 颯希さん(工学研究科1年生※)

留学先 キャンベラ大学 (オーストラリア)

留学期間 2019年8月～12月

香川で第2の家族とも言える人たちが「香川にまた帰ってきたい」と言ってくれる留学生と出会い、香川が大好きになりました。香川をより多くの人に知ってもらいたい、自分の専門性を生かして香川をもっと良くしたいと考えるようになり、トビタテ!香川地域人材コースに応募しました。

香川大学では建築構造分野を専門としていますが、建築の他分野も理解できる構造家になりたいと思い、留学先では建築デザインについて学びました。現地の学生と一緒にプロジェクトに参加し、公園の活性化を図るための建築を提案しました。ディスカッションやモデル作成、プレゼンテーションを通じて、相手に魅力的に伝えるための英語力とデザイン力を磨くことができました。

トビタテ!では目的や専門が違っても同じ志を持った仲間に出会えます。ぜひ皆さんも仲間と切磋琢磨しながら、自分の留学を実現してほしいです!



※留学当時の所属

キャンパスのなかでの国際交流活動

グローバル・カフェ(幸町キャンパス)

OLIVE SQUARE2階の「グローバル・カフェ」は、日本人・外国人を問わず、学生同士が自由な交流を通して文化や言語を学び合い、異文化理解を深める活動をするアクティブラーニングスペースです。実践的な語学力を高めたいという学生のために、香川大学の教員や留学生による多言語クラスや、IELTSやTOEIC Speaking & Writing Testの準備クラス等を開講しています。また、英語プレゼンテーションコンテスト、英語俳句コンテストや留学促進イベントを実施しているほか、学生が中心となって季節ごとの交流イベントを開催しています。グローバル・カフェ、学習ラウンジの開室時間は、平日の10時から17時30分までです。ぜひ気軽に足を運んでください。



【学生 VOICE】

佐藤 孝太さん

私は香川大学異文化交流会(ICES)の代表をしています。グローバル・カフェでは季節ごとのイベントがよく行われており、私たちICESはその企画や運営に携わらせていただいています。令和5年度はハロウィンイベントや年末交流イベントなどをグローバル・カフェと共催しました。イベントには留学生だけでなく日本人学生も多く参加し、とても楽しく交流をしています。

グローバル・カフェの魅力は、なんと言っても留学生たちと交流できることです。私はICESの活動を通してグローバル・カフェを利用するようになりました。私自身それほど社交的な性格ではないのですが、何度も通ううちに留学生と仲良くなることができました。日本にいなから、様々な国の人と話して海外の話聞けるのはとても面白いです。

留学生と話してみたいけど外国語は二ガテ……、と思われる方もいるでしょう。確かにグローバル・カフェでは英語、中国語、韓国語、フランス語やドイツ語などといういろいろな言語が飛び交っており、私も全く会話についていけない時があります。でも心配することはありません。留学生は日本語で話してくれることも多く、私たちが外国語で話しかけたら耳を傾けてくれてゆっくり話してくれます。普段の会話を通して聞く力、話す力も身につけてくると思います。

外国語を話してみたい!留学生の友達を作りたい!など少しでも国際交流に興味があればぜひグローバル・カフェに立ち寄ってみてください。お待ちしております!

Sy Khalifa Ababacar(シ カリファ アババカー)さん

On my first day at the Saiwai-Cho campus, I was invited to visit the Global Café. I learned much about Japan there. It rapidly became an indispensable part of my life in Japan and at Kagawa University.

There, I could participate in several interesting activities, learn about students' different experiences and cultures, and learn languages from different countries through the students. There is a misconception that only English speakers are welcome there. I met many people who did not speak English, some who learned it there, and some who spoke Japanese on top of their native languages.

I heard about activism from my friend Gana at the speech contest. I learned about food science from Tokuda-sensei. I also learned about Japanese food culture from one of the many books in the Global Café. I met fellow foodies and learned about the many hidden places we could eat in Takamatsu.

I met most of the friends I made at university there. We planned many trips and dinners together, some of them homemade. We visited many places such as Kurashiki, Miyajima, and Kyoto. Even though many have graduated and moved all over Japan, I can continue what I hope will be long-lasting friendships.

For me, the Global Café was a place where I made friends and explored language, culture, and life in Japan. I hope that you try out the Global Café, and even propose your own activities. I found that it is a place where the greatest limit on what you can do is your imagination.

幸町キャンパス以外でも、イングリッシュカフェを実施しているキャンパスもあります。各キャンパスの掲示板や事務窓口で確認しましょう。

問合せ 087-832-1268
087-832-1342(不在時は左記にお電話ください)
globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp

グローバル・カフェのワークショップやイベントの情報は公式SNSで公開しています。



Facebook

Twitter

LINE

LINE
チャットでも
問合せできます。

国際寮への入居、外国人留学生寮でのレジデンスチューター

本学の寮で外国人留学生と一緒に生活してみませんか。留学するには不安がいっぱい、でも、留学前に生活スタイルや食生活の違い、ことばの壁を体験しておけば、留学先での生活に対する不安が和らぐかもしれません。また、留学せずに異文化体験をする絶好のチャンスです。入居者要件や募集、寄宿料などは国際課で確認してください。

問合せ 国際課(087-832-1149/ryugaku-h@kagawa-u.ac.jp)

海外留学情報リンク集

1 海外留学支援サイト

独立行政法人日本学生支援機構が運営する海外留学を考える方への情報サイトです。

ホームページ <https://ryugaku.jasso.go.jp/>



2 官民協働海外留学支援制度「トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム」

派遣留学生自らが立案する留学計画を官民協働で支援するプログラムです。

ホームページ <https://tobitate.mext.go.jp/newprogram/uv/>



ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/tobitate/>

3 各国留学情報サイト

米国 | 日米教育委員会(日米両政府共同運営の教育交流機関)

ホームページ <https://www.fulbright.jp/study/index.html>

カナダ | 在日カナダ大使館

ホームページ <https://www.canadainternational.gc.ca/japan-japan/>

英国 | STUDY UK(英国の公的機関であるBritish Councilによる留学情報サイト)

ホームページ <https://study-uk.britishcouncil.org/>

オーストラリア | オーストラリア留学(オーストラリア政府による留学情報サイト)

ホームページ <https://www.studyinaustralia.gov.au/ja>

フランス | Campus France - Japon(フランス政府留学局・日本支局のサイト)

ホームページ <https://www.japon.campusfrance.org/ja>

ドイツ | DAAD日本(ドイツ学術交流会)

ホームページ <https://www.daad.jp/ja/>

韓国 | Study in Korea(韓国政府による留学情報サイト)

ホームページ <https://www.studyinkorea.go.kr/ja/main.do>

中国 | Study in China / 留学中国(中国政府による留学情報サイト)

ホームページ <https://www.campuschina.org/>

香川大学との学術交流協定校一覧(2024.1.31現在)

香川大学との学術交流協定校一覧

	大学名	主管部局	国・地域
大学間	カセサート大学	農学部	タイ王国
大学間	チェンマイ大学	農学部	タイ王国
大学間	ルイビル大学	法学部	アメリカ合衆国
大学間	サボア・モンブラン大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	南京農業大学	農学部	中華人民共和国
大学間	ミュンヘン工科大学	創造工学部	ドイツ連邦共和国
大学間	メチョー大学	農学部	タイ王国
大学間	国立政治大学	法学部	台湾
大学間	ラインマイン応用科学大学	経済学部	ドイツ連邦共和国
大学間	コロラド州立大学	教育学部	アメリカ合衆国
大学間	上海大学	経済学部	中華人民共和国
大学間	大邱大学	経済学部	大韓民国
大学間	中国海洋大学	法学部	中華人民共和国
大学間	真理大学	経済学部	台湾
大学間	西北大学	経済学部	中華人民共和国
大学間	南ポヘミア大学	教育学部	チェコ共和国
大学間	ハンバット大学	創造工学部	大韓民国
大学間	天津農学院	農学部	中華人民共和国
大学間	ブルネイ・ダルサラーム大学	医学部	ブルネイ・ダルサラーム国
大学間	チュロンコン大学	農学部	タイ王国
大学間	シレバングラ農科大学	農学部	バングラデシュ人民共和国
大学間	コンピエーニュ工科大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	トリバン大学	創造工学部	ネパール連邦民主共和国
大学間	ムルシア大学	教育学部	スペイン王国
大学間	パタンバン大学	農学部	カンボジア王国
大学間	王立農業大学	農学部	カンボジア王国
大学間	誠信女子大学校	教育学部	大韓民国
大学間	セントピーターズバーグ大学	教育学部	アメリカ合衆国
大学間	リモージュ大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	北京外国語大学	教育学部	中華人民共和国
大学間	浙江工商大学	農学部	中華人民共和国
大学間	カリフォルニア州立大学フラトン校	経済学部	アメリカ合衆国
大学間	パリ電子電気工学技術高等学院	創造工学部	フランス共和国
大学間	ガジャマダ大学	農学部	インドネシア共和国
大学間	ディボネゴロ大学	農学部	インドネシア共和国
大学間	州立ロンドリーナ大学	農学部	ブラジル連邦共和国
大学間	国立嘉義大学	創造工学部	台湾
大学間	ガイゼンハイム大学	農学部	ドイツ連邦共和国
大学間	空軍軍医大学	医学部	中華人民共和国
大学間	ハノイ工科大学	農学部	ベトナム社会主義共和国
大学間	アサンブション大学	農学部	タイ王国
大学間	ハルムスタット大学	創造工学部	スウェーデン王国
大学間	聖公会大学校	経済学部	大韓民国
大学間	東西大学校	経済学部	大韓民国
大学間	シラバコン大学	農学部	タイ王国
大学間	エッカード大学	教育学部	アメリカ合衆国
大学間	中国文化大学	法学部	台湾
大学間	台湾中央気象局	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	台湾
大学間	中東工科大学	農学部	トルコ共和国
大学間	カリフォルニア大学デービス校カリフォルニア大学理事会	農学部	アメリカ合衆国

	大学名	主管部局	国・地域
大学間	河北医科大学	医学部	中華人民共和国
大学間	ノッティンガム大学	農学部	英国
大学間	カンボジア健康科学大学	医学部	カンボジア王国
大学間	プトラ・マレーシア大学	医学部	マレーシア
大学間	ヤンゴン第一医科大学	医学部	ミャンマー連邦共和国
大学間	フラウンホーファー研究機構応用情報技術研究所	創造工学部	ドイツ連邦共和国
部局間	清州大学校人文学部	教育学部	大韓民国
部局間	クライストチャーチ工科大学	教育学部	ニュージーランド
部局間	江西師範大学外国語学院	教育学部	中華人民共和国
部局間	ガウハチ大学地理学科	教育学部	インド
部局間	インド工科大学グワハチ校	教育学部	インド
部局間	ノースイースタンヒル大学地理学科	教育学部	インド
部局間	フライブルグ教育大学	教育学部	ドイツ連邦共和国
部局間	上海社会科学院法学研究所	法学部	中華人民共和国
部局間	華東政治法律大学	法学部	中華人民共和国
部局間	華僑大学統計学院及び数量経済研究院	経済学部	中華人民共和国
部局間	カルガリー大学医学部	医学部	カナダ
部局間	中国医科大学	医学部	中華人民共和国
部局間	ブルネイ・ダルサラーム国保健省	医学部	ブルネイ・ダルサラーム国
部局間	カリフォルニア大学マーセド校	医学部	アメリカ合衆国
部局間	ニューカッスル大学医学部	医学部	英国
部局間	ボン＝ライン＝ズィーク大学	創造工学部	ドイツ連邦共和国
部局間	トレド大学	創造工学部	アメリカ合衆国
部局間	ラップランド応用科学大学	創造工学部	フィンランド共和国
部局間	漢陽大学工学部及びブレイン・コリア21機械工学科	創造工学部	大韓民国
部局間	北京師範大学化学学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	アルビ鉱山大学	創造工学部	フランス共和国
部局間	宝鶏文理学院化学化工学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	陝西科技大学材料科学工程学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	キャンベラ大学	創造工学部	オーストラリア連邦
部局間	アレクサンドリア大学	創造工学部	フランス共和国
部局間	ダッカ大学生物科学部	農学部	バングラデシュ人民共和国
部局間	ミシガン州立大学農学・自然資源学部	農学部	アメリカ合衆国
部局間	IPB大学農学部・大学院研究科	農学部	インドネシア共和国
部局間	ブルゴーニュ大学アグロスツップ校	農学部	フランス共和国
部局間	ナンヤンポリテクニク化学と生命科学部	農学部	シンガポール共和国
部局間	ホーチミン市工科大学化学工学部	農学部	ベトナム社会主義共和国
部局間	トリノ大学農林・食品科学部	農学部	イタリア共和国
部局間	吉林農業科技学院	農学部	中華人民共和国
部局間	ルフナ大学農学部	農学部	スリランカ民主社会主義共和国
部局間	ナポリフェデリコ2世大学農学部	大学院地域マネジメント研究科	イタリア共和国
部局間	国立中正大学地球・環境科学部	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	台湾
部局間	バンドン工科大学地球科学技術学部	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	インドネシア共和国
部局間	ヘルー国家防災庁	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	ヘルー共和国
部局間	西オーストラリア大学英語教育センター	インターナショナルオフィス	オーストラリア連邦

香川大学との学術交流協定校一覧